

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 玉尾 ひとみ

日時	2022年10月27日(木) 10時00分 ~ 15時00分	天候	曇/晴	コース名： 第34回よりみちクラブ
案内団体 又は催事 名	中之島ウォーク・大阪の橋巡り		人数	大人：16名

集 合：京阪天満橋駅東改札口を出て右、マクドナルド前 10時00分

ガイド：ならなぎ会員 久賀田さん・玉尾ひとみ 2班に別れて出発。ゴールの川口で合流。

行 程：天満橋→ 天神橋→ バラ園橋→ 難波橋→ 鉢流橋→ 中之島公会堂→ 水晶橋（大江橋を望む）→ 中之島図書館→ 梅檀木橋 → 大阪市役所→ 淀屋橋（御堂筋）→ 錦橋→ 昼食・フェスティバルキッチン→ 渡辺橋→ 田蓑橋（蛸の松）→ 中津藩跡（福沢諭吉の碑）→ 玉江橋→ 堂島大橋→ 上船津橋→ 湊橋→ 昭和橋・端建蔵橋→ 川口基督教会→ 木津川橋→ 明治初期の府庁・支庁跡（解散）・・・ 大阪メトロ阿波座駅

出席者…1班：玉尾(ひ)(ガイド)・玉尾(洋)・森・奥山・義田・武田・山田(勝)・近野

2班：久賀田(ガイド) 福島・山岡・堀内(け)・嶋田・澤井・中谷・村上 計16名

ポイント：

午前中 中之島公園の景観を楽しみながら、橋にまつわる歴史、文化財の建築物を紹介

天満橋・天神橋・・・明治18年の大洪水が大阪に与えた被害と影響 木橋→鉄の橋 橋名板の保存
この地で起きた大塩平八郎の乱。なぜおきたのか？と反乱軍の足跡について説明。
天神祭りのこと・ 難波の堀江、難波津、渡辺津のあった場所。

バラ園橋・難波橋・・・秋バラが咲き乱れる中之島公園を歩く。
市電開通に合わせて架けられた難波橋は一つ西の通りの難波橋筋にかけられる
はずだった。人力車や巡航船から市電へ、交通手段が変わっていった。
大正期にはいり、橋もまた鉄からコンクリートに。
4体のライオン以外にもう1体のライオンが和歌山に居るという話。

水晶橋・錦橋・・・昭和の初め、川の汚染対策に6カ所のダムが造られた。残っているのは
堂島川可動堰(水晶橋)と土佐堀川可動堰(錦橋)、現在は人道橋になっている。
大江橋・淀屋橋・・・大阪市のデザインコンペで選ばれた美しいフォルムは大阪人に愛され、
重要文化財に！ 二つの橋が架かる御堂筋誕生の歴史について紹介。
昭和8年、御堂筋拡張工事に先駆けて地下鉄御堂筋線が開通した。大大阪の時代。

昼食、フェスティバルタワービル12Fの社員食堂にて。

混雑を避けるため12時半過ぎに入店。正解！比較的安くて美味しい。

午後 堂島から福島区へ、そして西区へ。

堂島は蜆川と堂島川に囲まれた島(三角州)だった。元禄の頃、堂島の開発を目的として堂島五橋が架けられる。堂島米市場の誕生、蜆川の歴史、大坂に蔵屋敷が集中して建てられた理由は？
渡辺橋、田蓑橋、玉江橋・・・堂島五橋の橋。古の和歌の枕詞や古代にあったとされる橋の名前が
つけられているという。他に大江橋、船津橋がある。

船津橋、端建蔵橋、湊橋、昭和橋・・・堂島川と土佐堀川が合流し、安治川になる辺りは橋が幾つも
架けられ、その下を船がくぐっていく。水の都大阪の原風景！
宮田輝原作の“泥の河”の碑がある。映画化され評判になった。

川口・・・明治元年から31年まで、大阪外国人居留地であった場所。今は教会だけが残る。

大阪の文明開化はここから始まった。

教会の前で集合写真。 ゴール。

最寄駅の阿波座まで行く途中に、1代目の大阪府庁舎と市庁舎の跡地がある。

久賀田さんが皆を案内してくれた。

木津川を挟んで川口の向かい、江之子島に建てられたのだという。ここで解散。



所感：大阪は奈良や京都のように古い歴史は少ない。といっても難波津や渡辺津という古代の港があり、

難波に宮が置かれたこともある。中国や朝鮮半島、東南アジアからの文明はここからはいり大和に伝えられた。また遣唐使達は難波津から大海に乗り出し、大陸を目指した。

奈良と大阪は古い付き合いなのだ。

その後の中世から近世までの大阪の歴史は独特で、知れば知るほど面白くなって行く。

そんな個人の感動が少しでも伝わっていれば嬉しいと思う。

育った土地であったり職場があった地域でも、知らないことはいっぱいある。

情報交換をしながら、時には疑問をスマホで確かめながら歩いた。

同世代なら知っていると思っていた「泥の河」や「蜆川」の映画を知らない人が多いのが意外だった。古くからのわらべ歌“天神橋な～がいな！渡るのこ～わいな！”を1班は誰も知らなかった。かなり意外！

(特記事項)

収入、支出なし。